

公民科（公共）学習指導案

1 単元名 国際経済の諸課題

「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の「(3) 主として経済に関わる事項」

2 単元目標

- (1) 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。
- (2) 現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。
- (3) グローバル化する国際経済の現状と課題について、自由貿易と保護貿易、先進国と途上国などの観点から、多面的・多角的に考察し、表現する。
- (4) グローバル化する国際経済の課題についてさまざまな観点から、主体的に追究し、その解決策を構想する。

3 単元計画(全体9時間)

(1) 指導計画

- ・国際経済の仕組みと国際経済体制の変化 5時間
- ・国際経済の課題 4時間（本時3／4時間）

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際経済の現状と課題について、自由貿易と保護貿易、先進国と途上国などの観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際経済の課題について様々な観点から、主体的に追究し、その解決策を構想しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の理解 <p>【学習課題】<単元を貫く問い>「パリ協定の目標を達成するためには、各国が、どのような二酸化炭素排出削減プランを立てていかなければならないだろうか」</p>	<p>【ねらい】単元を貫く問いを理解し、問いに対する答えの見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パリ協定に関する既存の知識を確認し、学習課題に対する見通しをもつとともに、現時点での課題に対する自分の考えをまとめる。 		●	●	<ul style="list-style-type: none"> (B) 既存の知識を整理し、今後調べることが整理できている。また、現時点での自分の考えをまとめられている。 (C) 他者のワークシートを参照させるなどの支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の仕組みの理解 ・南北問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易、為替、国際収支、国際金融体制、経済統合についてその仕組みを理解するとともに、国同士の相互依存関係が強まっていることを理解する。 ・国際的な課題の背景には先進国と途上国のような対立構造があることを理解する。 	●	○		<ul style="list-style-type: none"> (B) 国際経済に関する基本的事項や国際的な課題の背景にある対立構造を理解できている。 (C) 教科書や資料集を再度確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・小テスト

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的な支援	評価方法
			知	思	態		
第2次 (4)	<p>【学習課題】<単元を貫く問い>「パリ協定の目標を達成するためには、各国が、どのような二酸化炭素排出削減プランを立てていかなければならないだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境問題の理解 環境問題の背景 ロールプレイ(模擬国連) 	<p>【ねらい】対立構造を理解しながら、多面的・多角的にパリ協定の目標達成のための方策を構想させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の環境問題の現状と対策を理解する。 二酸化炭素排出削減対策の変遷と国家間の対立の背景を理解する。 ロールプレイを通して二酸化炭素排出削減プランをグループで構想する。 		●		<p>【思】(B)「二酸化炭素排出削減プラン」について、各国の立場を踏まえ、多角的に考察し、協同的に構想できている。</p> <p>(C)他の生徒の意見をメモさせ、多角的に思考させるなどの支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートやグループワークの内容 発表の内容
	<ul style="list-style-type: none"> 最終レポートの作成 学習の振り返り 	<p>【ねらい】単元を貫く問いに対する最終的な自分の考えをまとめ、学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を踏まえ、個人で最終的な二酸化炭素排出削減プランを構想し、400～600字程度でレポートにまとめる。 学習の振り返りと自己評価を行う。 		○	○	<p>【思】5(1)参照</p> <p>【主】5(2)参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 ワークシートの記述

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

各国の立場を踏まえ、二酸化炭素排出削減プランを多面的・多角的に構想する。

【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	前時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 前回、エキスパート班でまとめた内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に提出したデータをシミュレーターに入力し、プロジェクターで投影する。
展開	エキスパート学習 ジグソー学習 発表	<ul style="list-style-type: none"> エキスパート班で資料を基に交渉案をまとめる。 議長国の進行の下、ジグソー班で合意形成を目指した交渉(話し合い)を行う。 ワークシートに結果(削減案がまとまった場合は、案とその理由、まとまらなかった場合は、最後に検討していた案とまとまらなかった理由)をまとめる。 ジグソー班ごとに結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 論証モデルを用いて構造的に理解させ、反駁や妥協策も検討させる。 適宜アドバイスを行う。 ●ワークシート【思】
	本時のまとめ 次回の予告	<ul style="list-style-type: none"> 個人でワークシートに学習のまとめと自己評価を行う。 次回各自で削減案をまとめることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 削減コスト(1000兆円/年)を説明する。 次回の授業までに各班の交渉結果をまとめたものを配付する。

【参考 前時の内容（関連部分）】

学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
<p>【学習課題】<問い>「パリ協定の目標を達成するためには、各国がどのような二酸化炭素排出削減プランを立てていかなければならないだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2100年未来の天気予報」 ・役割の確認 ・授業目標の確認 ・エキスパート学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省作成の映像資料の一部を視聴し、温暖化防止のために二酸化炭素排出量の削減が必要なことを理解する。 ・各自がアメリカ、EU、日本、中国、インド、発展途上国、議長国の立場の中から選ばれた一つの役割から考えることを確認する。 ・参加する全ての国が同意できる二酸化炭素排出削減プラン（気温上昇を2100年に産業革命時比1.5℃上昇に抑える）を構想する。 ・エキスパート班で役割ごとの指示書を読み、状況を確認する。 ・それぞれの国ごとに、自国の二酸化炭素排出削減プランを構想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項のプリントを確認させる。 ・事前にグループ分けをしておく。（各国一人、議長国二人 計8人×5班） ・資料はTeams上で配付する。 ・議長国には今後の議論の進め方を指示する。

(3) 本時の評価規準【思考・判断・表現】

「本時の目標」に到達した生徒の姿（具体的状況）
・各国の立場を踏まえ、二酸化炭素排出削減プランを多面的・多角的に構想し、表現している。
「本時の目標」に到達できなかった生徒への支援策
・グループで考えを共有させ、まとめ方を確認させる。

5 評価問題（評価材料）及び評価規準

(1) ワークシート（最終レポート）①の評価規準【思考・判断・表現】

パリ協定の目標達成に向けた世界の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現している。

ワークシート（最終レポート）①の内容（評価問題）

- ・二酸化炭素排出削減をするために、各国はどのように対応すればよいと考えますか。あなたの考え及びその理由について400～600字程度でまとめなさい。

ワークシート（最終レポート）①の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と評価される例
・自分の意見が複数の国の視点からまとめられ、論理的に説明している。
「十分満足できる」状況（A）と評価される例
・自分の意見が複数の国の視点からまとめられ、またその判断根拠も複数示されており、論理的かつ明確に説明している。
「努力を要する」状況（C）と評価される生徒の例と教師の指導
・自分の意見を複数の国の視点からまとめていない。 ⇒A評価を得た生徒のレポートを参考にさせ、盛り込むべき視点を指摘する。

(2) ワークシート（最終レポート）②の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

自分の学習到達度や学習課題を理解している。

ワークシート（最終レポート）②の内容

- ・今回の学習を通して、自分の学習上の課題はどこにあるのか書こう。

ワークシート（最終レポート）②の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・自分の学習上の課題が記述できているとともに、今後学習したい内容など今後の学習の見通しを立てることができている。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・自分の学習上の課題が記述できているとともに、その具体的な改善方法や、今後具体的に学習したい内容など今後の学習の見通しを明確に立てることができている。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・自分の学習上の課題が理解できていない。 ⇒ワークシートを返却する際に、個別にアドバイスをを行う。

6 成果と課題

(1) 観点別評価について

上述した評価規準・判断基準に基づく生徒（総数 308 名）の単元の観点別評価は以下の表のとおりであった。

	A	B	C
思考・判断・表現	14.9%	81.3%	3.8%
主体的に学習に取り組む態度	61.0%	39.0%	0.0%

（対象 302 人）

【思考・判断・表現】については、ほとんどの生徒が複数の国の視点から考察することができ、根拠も明確に意見文をまとめられていた。しかし、ワークシートにまとめたロジックモデルを活用し、反対説の紹介やそれへの反駁までできた生徒は多くなかった。原因としては、解答時間を 30 分としたため生徒が内容を練り上げる時間が不足したこと、書き方のポイントを教師があまり強調しなかったことが挙げられる。この点は、他の実践で改善していきたい。

【主体的に学習に取り組む態度】については、授業の振り返りの際に、ワークシートに書くべき事項についてほとんど言及しなかったが、6 割以上の生徒が A 評価となった。想定以上に生徒が自律的に学習できている様子が推察された。ただし、この基準の妥当性については、実践を重ねる中で検証を深めていきたいと考えている。

(2) ICT機器の利用について

この実践では、ロールプレイのシナリオや資料の配付、ワークシートの作成・提出を、配付された生徒用タブレットを活用して行った（アプリとして Microsoft Teams を使用）。ICT機器の利用は慣れている生徒が多いが、Teams は初めてという生徒が大半で、説明に時間がかかってしまったり、ファイルの共有でトラブルが起きたりと小さなトラブル対応に追われた。しかし、ワークシートなどの印刷・配付や回収をする手間はなくなり、全体としては慣れてくれば効率的に授業を実施できるように感じられた。生徒も、他の生徒の発表を聞いて考えたことをペンでメモしたり、ワークシートの作業の進行状況をリアルタイムで確認できたりとメリットを実感できたようである。また、今回は二酸化炭素削減が世界の気候（温度変化）にどのような変化を与えるかを示すシミュレーターを活用したが、ふだん視覚的に捉えられないものを可視化でき、論理的に思考・判断する上で有効だった。

7 参考文献

- ・『対話型論証による学びのデザイン』（松下佳代 勁草書房 2021 年）
- ・教科書『詳述公共』（実教出版）
- ・副教材『フォーラム公共』（とうほう）
- ・C-ROADS シミュレーター（CLIMATE INTERACTIVE <https://www.climateinteractive.org/world-climate-simulation-japanese/>）